

かごしましりつびじゅつかん 鹿児島市立美術館 「ミュシャ展～運命の女たち～」鑑賞レポート

伊敷台小学校 5年

びじゅつかん 美術館に行った日 平成30年 8月 2日(木)

き 気に入った作品の名前 (四つの花:アイリス、バラ、ユリ、カーネーション)

さくひん 作品をかいだ人の名前 (ミュシャ)

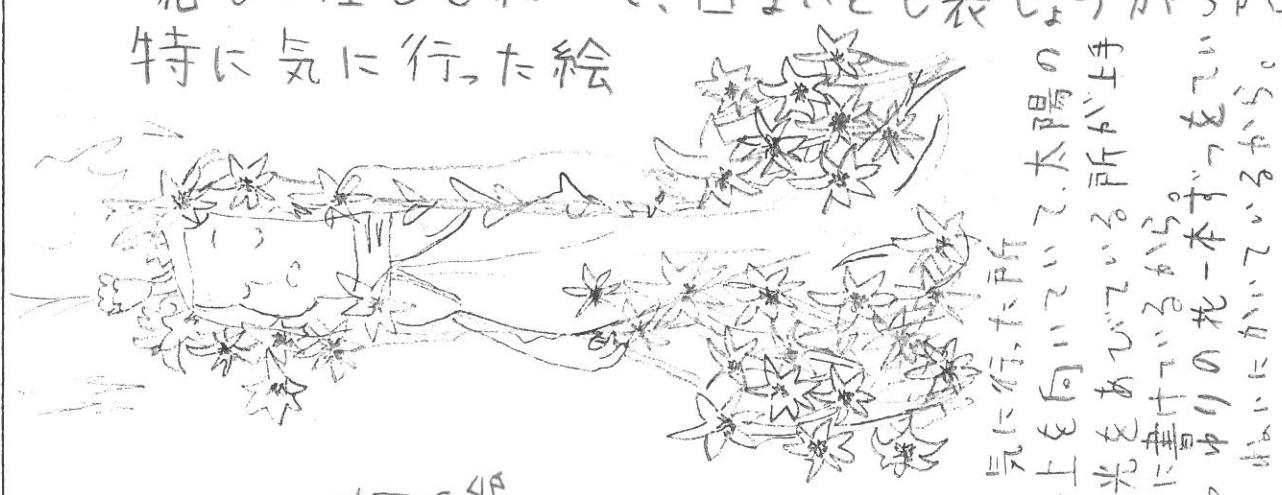
かんどう 感想 紹介

ミュシャが好んで書いていたのが、「花」と「女性」であつた。この作品ではアイリスは清潔でしなやかな女性に、バラは華やかで力強い美しさを持つ女性に、ユリは清楚で可憐な女性に、カーネーションは優雅でありながらどこかたくましさも感じる女性に、それぞれの花のイメージを巧みに擬人化している。この图案は好評を博したためさまざまなものに転用された。

思ったこと(感想)

- ・花の一つ一つがついにえかかれていた。
- ・紹介に書いた「花のイメージ」を巧みに擬人化している女性のイメージは、その花と合っていた。
- ・花も女性もきれいで、四まいとも表じようがちがった。

特に気に行きた絵



上を向いて太陽の光をあびて、花一本一本が生き生きとしている。花の上には葉っぱがあり、葉っぱの間に花が咲いています。花の下には根があり、根の間に葉っぱがあります。葉っぱは細長くて、根は太いです。